

修学旅行の出発に際して、一言話をしておきます。

先日の全校集会で人の心に残る思い出は、良い思い出 6 割、どちらでもない思い出 3 割、嫌な思い出 1 割になり、その良い思い出は、自分だけではつukれない、人につくってもらうものという話をしました。

今日から 3 日間、100 名近くの仲間と寝食を共にし、活動するなかで、みんなが良い思い出つまり楽しい思い出となるよう過ごしてください。

楽しい修学旅行とするためにも、先生からひとつだけ君たちに考えてほしいことを話します。修学旅行は、家族や友だちと行く旅行ではありません。これだけの人数で行くのですからわがままな気持ちを我慢することも必要になります。こんなことをしたい、こんなことを言いたい、ということがあっても我慢しなければならないことがあります。

それは、自分だけとか、自分たちのグループだけが 100%楽しいとしたら、きっとそのかげでまったく楽しくないという人たちがいるからです。団体行動の原則は「80%の楽しみと 20%の我慢」です。もう一度言います。「80%の楽しみと 20%の我慢」

今は我慢すべきかどうかを正しく判断できる力を、この修学旅行を通してつけてください。そして帰ってきたとき、みんなが楽しかったと言える修学旅行にしたいと思います。また、2泊3日で友達の違った良い面を発見できることも期待しています。3年の先生方も君たちの日常の生活では見えなかった良い面を発見できることを期待しています。